



## 「地域包括ケアに関わる皆さま方へ」



みんながつくる「地域包括ケア」学習交流会実行委員会  
実行委員長：鹿児島純心女子大学看護栄養学部  
看護学科 教授 八田 冷子

平成28年11月18日「みんながつくる『地域包括ケア』学習交流会(第1回)」を開催してから早くも1年が過ぎようとしています。

第1回目の学習交流会では、小坂田先生の「住み慣れた地域における普通の暮らしの幸せづくり」にこめられた「地域福祉」の視点を念頭に「こういうまちを作りたいというビジョンを持って、総合事業の目的を見失わないように、それぞれの地域でできることからみんなで取り組んで行こう」ということを確認し合いました。

一方、国は、同年7月に「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部を立ち上げ、地域福祉の理念を規定した「地域共生社会」の実現に向けた取り組みの推進をこれからのわが国のめざすべき将来像として提示しています。

このような中、本年4月からすべての市町村で新総合事業がスタートしましたが、市町村担当者はじめ関係者の皆様におかれてはそれぞれの立場で、限られた財源やマンパワーの中、様々な課題への対応に追われているとの声があります。

そこで、鹿児島の地域包括ケアのこれからの方向性を共有するとともに、新総合事業スタート後の住民主体の地域活動や医療生協の「おたがいさま」活動の報告等をもとに、「わたしの住みたいまちづくり」の推進に少しでも役立つよう第2回の学習交流会を開催することとしました。

今回は、関係者のみならず地域づくりの主役である住民の皆様の多数の参加を心よりお待ちしております。